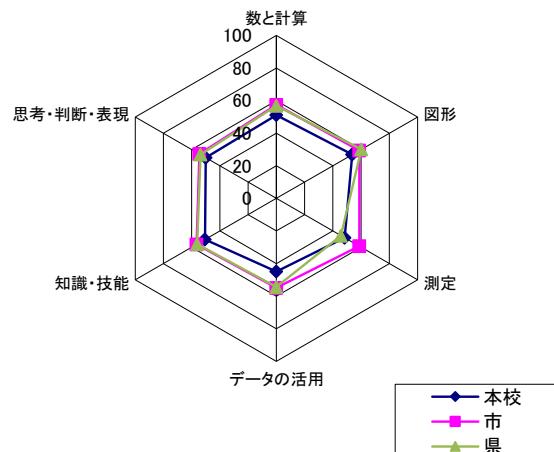


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	51.1	57.4	56.9
	図形	53.7	58.7	60.1
	測定	48.4	58.7	45.7
	データの活用	44.9	54.9	54.3
観点	知識・技能	50.6	56.6	56.2
	思考・判断・表現	50.0	54.5	53.8



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○小数のしきみや表し方を答える設問の正答率は89.7%で、無回答率は0.0%だった。 ●数直線で、目盛りが表す数の大きさを分数で答える設問の正答率は26.2%で、県の平均より21.6ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりや繰り下がりのある計算や九九など基礎的な計算が定着するよう、朝の学習の時間を活用して復習したり、AIドリルで当該学年以前の学習にも取り組んだりする。 ・数直線の読み取り方を授業内で説明する。 ・記述式の設問に対して苦手意識をもつ児童が見られるので、日頃から自分の考えやその理由を考えて表現する活動を取り入れていく。
図形	<p>平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ●正三角形を作図する設問の正答率は64.5%で、県の平均より13.3ポイント下回った。 ●二等辺三角形になる点を選ぶ設問の正答率は31.8%で、県の平均より0.4ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の性質を定着させるために、朝の学習の時間を活用して、表にまとめたり比べたりする学習に取り組むようにする。 ・円や球の半径や直径、中心などの基本的な用語と意味を理解することができるようプリントやAIドリルを活用して復習する。
測定	<p>平均正答率は、県の平均と比べて高い。 ○全ての設問が県の平均より上回った。時間が経過する前の時刻を求める設問の正答率は57.0%で、県の平均より1.0ポイント上回った。 ●はかりの目盛りを読みとり、重さを答える設問の正答率は、県の平均より4.1ポイント上回ったが33.6%と低く、無回答率が24.3%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はかりの使い方を確認し、実際に授業で身近な物の重さを量る体験活動を繰り返し行い、目盛りの読み方などに慣れさせ、基礎・基本の定着を図る。
データの活用	<p>平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ●二次元の表から読み取り、正しい傾向を選ぶ設問の正答率は45.8%で、県の平均より14.9ポイント下回った。 ●最後の設問の無回答率は43.0%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で二次元表を学習する際には、表の見方や読み方を児童に説明させたり、類似の問題を行ったりする。また、朝の学習の時間を活用して復習する。 ・時間内に問題を解き終わるよう、日頃から時間を気にしながら解くように指導するとともに、最後まで諦めずに粘り強く課題に取り組めるように指導・支援していく。